平成25年度

株式会社泉鉄工所

会社紹介

国が認める安定した品質の鉄骨製品を供給するため 最新機器の導入で企業力を強化し収益性の向上を目指す

設立以来、建築用の鉄骨を主に製作。近年導入した最新型の鉄骨用溶接ロボットにより、災害関連や大手メーカーの店舗工事なども受注でき、安定した品質の鉄骨製品を供給している。そもそも建築用鉄骨は、国土交通大臣の認定を受けた工場において製作される工業製品のことで、バブル期をピークに需要が下がり始めたものの、東京オリンピックや国土強靭化法成立等で業界全体が好転。同社においても、県内外から引き合いが増え、昨年夏ごろから工場がほぼフル稼働している。今後さらに増えるであろう鉄骨需要に応え、より高品質な鉄骨製品を安定的に社会に供給できるよう、企業力を強化して収益性の向上を目指す。

代表取締役社長 泉　忠男

補助事業

ショットブラスト装置の導入で 厳しい精度と安定した品質を管理

建築用鉄骨は、木造や鉄筋構造のように、工事現場で加工されるのではなく、製作工場において、鉄骨製作管理技術者や建築鉄骨検査技術者などの管理のもと加工製作される。現場においては高力ボルトなどで組み上げることで完成する。そのため製作工場では、厳しい精度管理や安定した品質が求められる。組立は高力ボルトによる接合が主流で、特に高力ボルトの接合面は摩擦接合によって行われるため、接合面の処理は重要な工程といえる。通常はショットブラスト機やグラインダー等の電動手工具で行われるが、同社の現行の設備においては老朽化もあり、修理を繰り返しながら使用。そこで今回、同事業を活用してH型鋼用と鋼板用の2基のショットブラスト機を導入した。

成果

同業他社との差別化により競争力もアップ 予想される大型物件の受注にも即時対応

H型鋼用のショットブラスト機は、旧設備より大型のサイズに対応し、さらに処理能力の高速化により、機器導入前と比較して作業効率が改善。また鋼板用は、従来手作業で行っていた摩擦面処理が、機械化により自動化されたことで、大幅な機器導入の効果が表れている。もちろん、導入機器により処理された鉄骨製品の摩擦接合面は、建築学会基準に求められる表面粗さを十分に確保し、高品質な鉄骨製品を製作する設備として活用できた。今後予想される大型物件の受注時に即時対応できるだけでなく、同サイズのショットブラスト機は県内でも導入実績が少なく、同業他社との差別化により競争力がアップ。顧客からの短納期ニーズにも対応することができ、自社の収益性向上に寄与。さらに手作業での摩擦面処理は、作業時の粉じん対策や消耗品のサイクルの短さ・故障などで非常にコストがかかっていたが、今回の機械化により作業環境も大幅に改善され、省力化にも大きく貢献した。

今後の展開

安全な社会インフラに寄与 地域にも安全・安心を届ける

今回、同社で製作する製品が安定した摩擦接合面を得ることで、耐震性に優れた鉄骨製品を製造でき、しかも安全な社会インフラの供給に寄与することができた。余力があるときには、ショットブラスト装置未導入の近隣協力企業の摩擦面処理加工を積極的に受注。収益を上げることはもとより、近隣協力企業の鉄骨製品の品質レベルアップにつなげ、地域にも安全・安心の鉄骨製品を届ける。

会社概要

会　社　名	株式会社泉鉄工所
代　表　者	代表取締役社長　泉　忠男
所　在　地	和歌山県田辺市秋津川1501-1
資　本　金	1,000万円
従業員数	20名
業　　種	鋼構造物工事業
設立年月日	昭和45年5月1日(創業／昭和40年1月5日)
TEL	0739-36-0080
FAX	0739-36-0168
URL	https://bso15674.bsj.jp